

輸出事業計画

申請者名：くまもと県産木材輸出促進協議会

品目：製材（スギ、ヒノキ）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

県内の多様な製材品を生かした、海外での商談機会が創出されるよう、植物検疫条件や流通・販売規制等に関する調査を行うとともに、研修によるスキルアップ、海外展示会出展による各国のマーケット・ニーズなどの情報収集・課題整理を行い情報発信をすることで、県内事業者がチャレンジしやすい環境及び産地体制づくりや県内事業者間の連携強化、海外ネットワーク構築を推進している。

【課題】

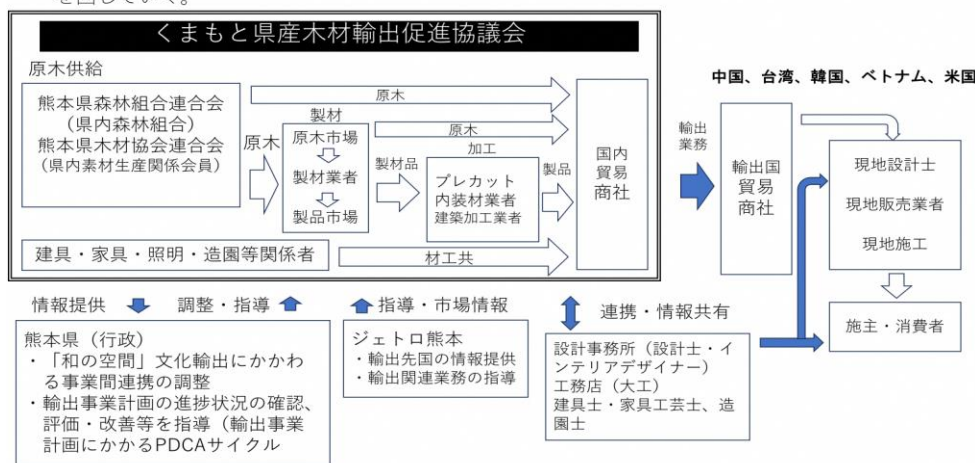
- ・輸出ターゲット国の木材需要の情報把握
- ・輸出商品に適応したビジネスモデルの構築、特に輸出先国におけるビジネスパートナーの発掘
- ・大口の注文への適時・適量の対応

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・輸出に対する情報等を川上、川中・川下で共有し、丸太の生産から製材品の製造・運搬・販売のネットワーク構築を図るとともに、会員が意欲をもって製材品輸出に取り組むための研修会や支援事業等を行う。
- ・輸出ターゲット国で開催される展示会への出展や、バイヤー招へいを通じて、現地パートナーを発掘を目指す。
- ・輸出ターゲット国に応じた、構造用ヒノキ材（プレカット材等）、内装用ヒノキ材等（現地組立て、DIY用）及びパーゴラ部材・フェンス材などの半製品・ガーデンファニチャー等のオーダーメイド又はレディメイド商材・商品の明確化を図る。
- ・設計事務所、住宅や家具メーカー、商社等と連携し、輸出ターゲット国のニーズの把握に努め、新たな商品開発につなげる。
- ・協議会会員で連携し、複数ロット注文に対応するための生産体制の構築を目指す。また、取引先企業を招へいし県内の山の状況や製材工場を視察してもらい、ロットや製材能力の理解を求める。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

川上から川下の企業を有する当組織体制により、課題解決から目標達成に向けPDCAサイクルを回していく。



4. 輸出目標額

	令和4年度	目標年（令和8年度）
輸出額（千円）	161,641	200,580
輸出量（m ³ ）	2,689	3,810
輸出先国	中国、台湾、韓国、ベトナム、米国	中国、台湾、韓国、ベトナム、米国
生産量（m ³ ）	38,800	42,550